

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	6	学校名	熱海高等学校	記載者	土屋 俊彦
------	---	-----	--------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	日々の生徒との関わりを大切にして、個に応じた「温かく」かつ「丁寧」な指導を充実させ、欠席、遅刻、早退の減少を図り、中途退学者数の減少につなげる。	1日あたりの全校生徒欠席人数8人・遅刻人数2人・早退人数0.5人未満にする。	B	B	社会へ出たとき、遅刻しないことが大切なので、目標を含め、遅刻の減少に努めてほしい。 先生方や学校の努力は評価いたします。家庭環境や対人関係など、複雑多様化する時代で、指導もなかなか難しいと思います。引き続き、生徒が欠席遅刻早退する原因を分析し、中途退学者減少につなげていただきたいと思います。体調が悪い時は体を休めることも大切だと思います。
	学校全体で前向きに成長を求める雰囲気と環境をつくる。指導基準を統一し、全教員で指導に当たることで生徒の規範意識を高める。	チケット指導件数前年比90%。 生徒指導件数前年比90%。	A	A	良好。意識向上は前向きな取り組みでよい。 前年の状況との比較ではありますが、100%目指して努力をお願い致します。熱高カフェ、生徒コミュニケーション良い。生徒主体でルールの見直しできるとよい。
イ	知的好奇心を喚起するような魅力ある授業を実践し、育成すべき「資質・能力の三つの柱」の向上を図る。丁寧で分かりやすい授業、家庭学習の習慣化を推進し、基礎学力を定着させる。	公開授業の教員参加率100%（事後評価の実施）公開研究授業を年2回実施する。	B	B	更に努力してください。 新入生の定員数が40名になったことから、教員数も減少したことがどの程度様々な部分に影響しているのか心配。
		教員研修を学期に1回以上行うことにより、授業評価「授業が分かる生徒」75%以上達成させる。	A	A	高評価したい。 研修を重ねていただき。生徒の授業に対する集中力を高め、結果に結び付けていただきたいと思います。少人数の授業は、目が行き届くのが良いと思います。
		生徒の家庭学習時間30分以上の生徒を60%達成する。	C	C	生徒の意識向上を望む。 家庭環境の中での学習時間の目標達成は難しいと思いますが、それでも必要性和、その努力が、将来につながることの説明や説得が求められると思います。 少しでも良いので、毎日、課題を出してみてください。

様式第5号

ウ	<p>「進路の手引き」を有効活用し、計画的に生徒のキャリア形成のための進路指導を実施する。</p> <p>地元企業や大学、専門学校等との連携により進路行事を充実させ、進学先、就職先の開拓につなげる。</p> <p>教職員間で情報共有を図り、生徒が意欲的に、より高い進路希望を掲げて地道に努力するよう、その実現に向けての実力を養成する。</p>	<p>「キャリア通信」を月1回以上発行することにより、進路意識の向上85%以上。</p>	B	B	<p>努力されていると思う。</p> <p>この部分は丁寧にやっていただきたいと思います。月1回以上の発行できない部分の問題解消に努力して欲しいと思います。</p>
		<p>進路行事参加率100%。</p> <p>保育・介護体験実習及び類型実習の参加率100%、インターンシップ・オープンキャンパスの参加率100%。</p>	A	A	<p>良好。</p> <p>先生方の努力に感謝いたします。参加率100%はとても良いと思います。次は内容をより良くしていければと思います。</p>
		<p>第一志望進路先への合格・内定85%以上。</p>	A	A	<p>結果が出ているので良好。</p> <p>先生方の努力に感謝いたします。退学、離職が多いとよく聞きますので、その指導もお願いします。</p>
エ	<p>生徒が主体的に取り組む環境と雰囲気をつくり、達成感や自己肯定感、自己有用感を育む。</p>	<p>学校行事に対する生徒満足度80%以上。</p>	A	A	<p>良好。文化祭は賑やかでよかった。</p> <p>コロナ禍の様々な制限を乗り越えて、日常が戻ってきていますので、学校行事も以前のように活気を取り戻しているものと拝察いたします。引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>生徒が主体となって行事を行えたので良かったですね。</p>
		<p>3部活以上の県大会出場。</p> <p>部活動満足度80%以上。</p>	A	A	<p>良好。更に頑張ってください。</p> <p>定員数が減り、ヨット、野球、吹奏楽の部活動の入部停止が気になっています。</p>
オ	<p>HR、学年集会、全体集会などの教育活動の様々な場面で、道徳的価値を高める指導を通じ、生徒の人格形成を図り、自他を認め多様性を尊重する態度を養う。</p>	<p>学校生活アンケートにおける自己肯定感満足度前年比100%以上。</p>	B	B	<p>カウンセリングに努めてほしい。</p> <p>100%以上に向け努力をお願いいたします。</p>
		<p>学校生活アンケートにおける友人関係満足度前年比100%以上。</p>	A	A	<p>良好。</p> <p>いじめや不登校につながりやすい部分だと思います。他社の立場に立って、思いやりの持てる友人関係や先生との関係を構築していただけるよう指導を引き続きお願いいたします。</p>

様式第5号

カ	読書環境を整備し、読書習慣を定着させ、読書量の増大及び質の改善を目指す。	原則週に1回、図書室の開放をする。生徒が好む図書室環境へのリニューアルを行う。	A	A	良好。 読書習慣の定着向上をお願いします。
		平常授業日に朝読書を毎日実施する。	A	A	良好。
キ	生徒が心身ともに安心して快適に過ごせるよう、生徒・保護者の健康管理に対する意識を向上させ、安心・安全な教育環境を整備する。	朝食摂取率 80%以上。	A	A	成果があって嬉しい。 朝食接種できていない生徒の家庭環境が気になります。学校で朝食を摂取できる対策のその後はどうか。冷食などで手軽に食べられる物(焼きおにぎり等)をとらせたらどうでしょうか。
	特別支援教育の教員研修を実施する。特別支援計画の作成を実施する。個別面談体制の充実を図る。	90%以上の教諭が特別支援教育への理解を深める。	A	A	良好。
ク	生徒の危険への予測・対応力を育成するとともに、奉仕活動等を通じて地域貢献意欲を高める。	ウルトラ大掃除や通学路清掃など奉仕活動を年2回以上実施する。	A	A	地域での奉仕活動が定着している。
		地域防災訓練参加率を50%以上達成する。	B	C	更に参加しやすい仕組みが必要。 地域の高齢化率が非常に高くなっています。生徒の参加率向上をお願いします。
ケ	広報活動を充実させ、生徒・保護者・地域に対し、学校の特徴的な取り組みや成果についての理解を広め、生徒募集の増加につなげる。 地域との連携を深め、地域に根ざした教育を実践することにより、地域から信頼される学校づくりにつなげる。	中学校訪問(2か月に1回程度)、生徒による母校訪問、HP更新(週1回)、インスタグラム更新(週平均2回以上)により、広報活動により本校を認知するきっかけとなった新入生50%以上を達成する。	C	C	中学校訪問はスケジュールを含め難しいと思う。部活動などでの連携が好ましい。 SNSの私活用は注意してほしい。(トラブルもあるので) 市町行政との連携が必要です。教員の多忙化解消が、どの市町でも問題視され、高校の先生もそうですが、中学の先生方も、今以上の負担を嫌うので難しいところですが、生徒募集の為には頑張りたいと思います。定員が40名になったこともマイナス要因と考えず、しっかり市町教育委員会とも協議して欲しいと思います。インスタグラム、学校の様子が分かるので見ます。

様式第 5 号

		オープンスクール 参加者数 30 人以上、 一日体験入学 参加者数 80 人以上 を達成する。	B	B	参加者のニーズを求めるべき。
		PTA 総会の参加率 を 50% 以上にす る。	B	B	日程の調整を検討してください。 今どこも人材不足で、仕事で共働 きの親はなかなか難しいでしょ うね。
コ	外郭団体等と連携し、 生徒が国際感覚を身に つける場を提供し、積 極的な交流により多様 な文化への理解を深 め、地域に貢献できる 人材を育成する。	地域のインバウン ド対応を教材と し、講師招請を行 い探究活動するこ とで、情報収集能 力、課題解決能力 の育成を図る。総 合的な探究の時間 の授業満足度を 80% 以上達成す る。	A	A	良好。 地元熱海市や伊東市もインバウ ンド誘客にも力を入れています。 国際交流はとても大切で、多文化 共生へも繋がります。様々な国の 文化の理解度を高めるためにも、 講師の招請を推奨し、授業満足度 を高めていただきたい。
サ	生徒や職員が安心して 過ごせる教育環境を整 える。	施設設備の巡回点 検月 1 回。 施設設備に係る生 徒事故 0 件。	B	A	良好と思える。 巡回点検が月 1 回出来ていない ということでしょうか。
シ	学校組織や業務分担の 見直し、行事等の教育 活動の精選、時間外勤 務時間の削減を通し て、生徒に対する効果 的な教育活動を行う環 境を整備する。	時間外業務時間の 対前年比減少。 完全退庁時間 (20 時) の徹底。 業務改善を意識し た教職員の割合 100% (意識調査) タイムマネジメン ト、業務の効率 化・デジタル化、 部活動ガイドライ ンに則った実施等 に関する意識付け のための情報提供 年間 (10 回以上) と 研修の実施 (年度 当初)。	C	C	意識はできているので、効率化ア ップを実施してほしい。